



明和工業株式会社

- 本社所在地：新潟市西蒲区打越135-1
- 事業概要（明和工業および、資本関係のある会社）：水管橋等の製造業／水道本管仮設資材「REPCS」／機械加工業や電気設備の設計・製作・各種工事（エンジニアリング事業）／産業用装置設計・製造／産業用ロボット・医療機器向け高精度部品製造／鋼構造物製造および設置工事業／土木業
- 常時使用する従業員：519人（グループ全体・2025年3月期）
- 現在の売上高：87億円（グループ全体2024年3月期基準）
- 法人番号：4110001007608
- Web：https://www.meiwajp.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
関根 聡史

日本の中小企業の高度なモノづくり技術を束ね、産業用設備業界にイノベーションを起こす

当社は水道事業を主力とする明和工業を中核とするグループです。明和工業では、半世紀にわたり水管橋等の製作等公共工事を軸に成長を遂げてきました。近年は事業分野の拡大を目的に、小規模な部品製造メーカーなどのM&Aを行いながら、水道事業で培った溶接技術を組み合わせ、民間の工場やプラント設備等に向けた産業用設備向けのユニットを製造する「エンジニアリング事業」に進出し、今後10年間で第二の主力事業へと成長していきます。当社では今後も事業承継者がおらず、廃業リスクのある小規模事業者をM&Aを通じてグループに迎えながら、垂直統合型で国内製造の完結を実現することで、産業用設備分野で業界にイノベーションを起こしていきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2027年の売上高100億円達成に向け、明和工業などグループ内の会社の生産能力が限界に達していることや、機械設備の更新が課題となっており、26年～27年に設備投資を完了し、国内での垂直統合生産を実現することで、既存の顧客の売上だけでなく、幅広い分野で新規の産業用設備をユニット供給し、計画値を実現します（進捗率や売上計画は次ページのグラフに詳細を記載）

課題

- ▶機械加工、溶接・組立と、各社・各部門の生産能力が限界に達しており、顧客の需要に応じた生産量の製造が難しい
- ▶西日本エリアでは微細な機械加工（部品製造）がメインで、溶接のスペースがなく、製缶工程まで対応できていない
- ▶グループ内の各企業が人員不足および今後人材の採用と育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

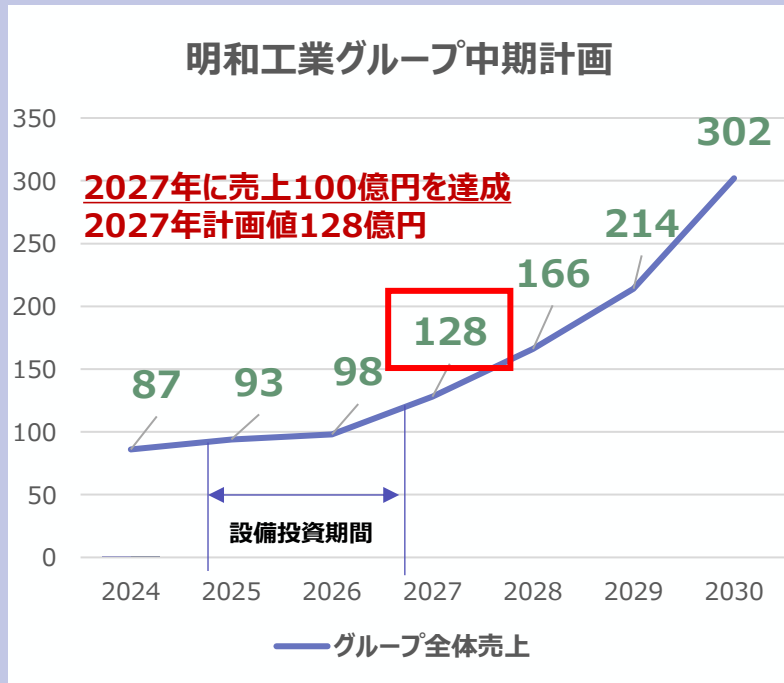
- ▶明和工業のエンジニアリング事業部工場の新設による増産
- ▶機械加工技術を持つヨシカワ機械への設備投資により、生産体制の増強と、西日本エリアでの製缶を含めたユニット製造
- ▶明和工業からグループ各社への人材出向、および、全国約15の営業拠点の活用と、明和工業グループ全体お経営戦略機能の強化による顧客のマッチング、成長戦略の策定
- ▶技術がある小規模企業をM&Aし、グループの技術の内製化

実施体制

- ▶明和工業を中核とするグループ内での相互の人材出向により、各社の技術をグループ内で標準化
- ▶明和工業で人件費を拠出している共通管理部門の機能の強化。具体的には、明和工業グループの子会社や中核企業の各部署を横断的にみることができ経営戦略機能と人員の配置を行う人事部門の強化を行う。
- ▶ヨシカワ機械等各生産拠点の増産体制の強化と設備導入

2029年の明和工業を中核としたグループ売上高目標達成に向けた詳細計画値および体制図

グループ全体中期目標：2030年グループ売上300億円
【内訳】明和工業200億円 子会社・関連会社100億円



- ①2025～2027年：明和工業とヨシカワ機械への設備投資＝合計約15億円
②2027年に明和工業グループの売上が100億円を達成
③設備投資による生産拡大による明和工業売上計画：明和工業単体で17%～23%UP
④設備投資によりヨシカワ機械の製作品目の増大による売上計画：2027年以降55%UP
④2028～2029年：新規M&Aにより他の事業会社の売上伸長率が増大

